

03

考えていますか。必ずやってくる老後のこと。

顧客満足

～人生80歳超時代への備え。資金計画も大切。自己投資も大切～。

最近とくに感じることだが、銀行の窓口などに行くと相続に関わるセミナーの開催をよく目にするようになった。これはやはり平成27年から改正された「相続税の基礎控除引き下げ」が影響しているのだろう。前年までと比較して基礎控除額が4割も縮小されたことで、今後新たに相続税の課税対象となる方々が増えることになる。また投資やお金に関するセミナーも同様に関心が高まってきており、先日私が講師を務めさせていただいた、お金の貯め方や使い方に関するセミナーにも定員を超える約50名の方に聴講いただいた。参加された方の年齢も若い世代からご年配の方まで幅広く、みなさん老後に向けた資金作りに強い関心を持たれており、また同時に不安も抱かれていることを感じた。

世界一の長寿大国と言われる日本だが、厚生労働省の発表している最新の平均寿命は男性で80.50歳、女性で86.83歳であり、男女共に80歳以上となっている。

しかし、あまり知られていないのだが、平均寿命の他に健康寿命というのがあるのをご存知だろうか。これは平均寿命から介護年数、自立した生活が出来ない年数を引いたものを指す。厚生労働省によると、平均寿命と健康寿命の差は約10年。つまり、約10年間は病気や何らかの理由により一人で生活が出来ない期間があることになる。この10年をどう生きることが出来るのか、それが大切な問題なのだと思う。

先日のセミナーでもこの平均寿命について話をした。自分自身の余命を知った上で将来の資金計画を立てることの大切さを説明したが、セミナーの終わりにもう一つ、将来への投資に向けた支出をぜひ増やして欲しい、ということもお話しした。お金が人生の中で重要な要素であることは間違いない。だからこそ私たちは将来の金銭的不安を少なくしようとする。しかし、一方で、健康的な生活や家族や仲間との交流、社会貢献活動など、今

後の人生を彩り豊かにしてくれる、そのような支出もまた、大切な投資であると思う。

日本ファイナンス有限会社
下関店 店長
松原 剛

AFP(日本FP協会認定)
TEL083-234-3544

<http://nihon-finance.com>

借金で苦しむ人への的確なアドバイスで定評がある、消費者金融のプロフェッショナル。弁護士の人脈、債務カウンセリング、真摯に相談に乗る姿勢が認められ、感謝の声が多数寄せられている。ラジオなどのメディア出演を通して、借財に対する正しい認識を広めている。

